

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 5 月 25 日現在

機関番号：12501

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2013～2016

課題番号：25282204

研究課題名(和文)ヘルス・プロモーション・スクール国際版認証システムの構築

研究課題名(英文)Development of the international certification system for Health Promoting Schools

研究代表者

岡田 加奈子(okada, kanako)

千葉大学・教育学部・教授

研究者番号：10224007

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 14,400,000円

研究成果の概要(和文)：日本、シンガポール、韓国、台湾、香港等のヘルス・プロモーション・スクール(以下HPSとする)の認証システムを調査し、その結果を基に、HPS認証プロセス(仮)を提案した。そして、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、各1校園、全4校園に、健康的な学校づくりを実施しながら、仮に作成したHPS認証プロセスを用いて、実際に模擬認証を行った。その結果、実施した学校園、HPSメンバーから様々な意見と検討課題が上がり、その結果、最終的にHPS認証システムを開発した。

研究成果の概要(英文)：We investigated the certification system of Health Promoting Schools (referred to below as HPS) in Japan, Singapore, South Korea, Hong Kong, and Taiwan. Based on the results obtained, we proposed a (provisional) health promotion certification process. Next, we implemented a Health Promoting Schools program in four schools: a kindergarten, an elementary school, a junior high school and a special needs school, and we used the provisional HPS certification process to award certificates to these schools. Subsequently, we received feedback and suggestions from the participating schools, and as a result, we were able to develop a certification system for HPS.

研究分野：学校ヘルスプロモーション

キーワード：ヘルス・プロモーション・スクール 認証システム アジア 学校 国際版

1. 研究開始当初の背景

ヘルス・プロモーション・スクール(HPS)とは、「**学校の児童・生徒，教職員，保護者，地域住民，専門家等が連携・協力のもと，身体，精神・心理，社会的健康な学校づくりを自ら行い続けることができる学校**」であり，「**学校を中核として地域社会や家庭との連携のもとに包括的にすすめる総合的な健康づくり**」(WHO 1986，衛藤 2005)を行うものである。ヘルス・プロモーション・スクールは，ヨーロッパ，アメリカ等では 1990 年代から実施され，アジア諸国では，1996 年以降，中国，香港特別行政区，台湾が，研究者の主導のもと政策的に開始している。しかしながら，諸外国では部分的には効果が上がってはいるものの，HPS の具体的スタンダード（規準・基準）が部分的で，不十分であり，さらに実践レベルにおいても，政府のトップダウン式の画一化した方式が多く，十分な効果を上げているとはいえない。

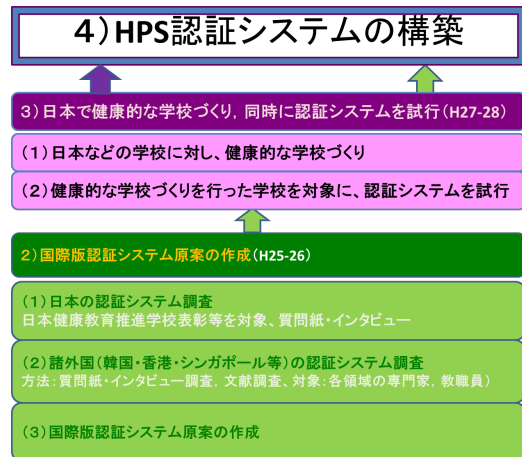
2. 研究の目的

本研究では，HPS の推進のため，HPS 認証センター（優れた健康的な学校づくりを行っている学校を HPS として認証する機関）の実現のため，国際的に用いることができる「HPS 国際版認証システム（優れた健康的な学校づくりを行っている学校を HPS として認証する基準，方法，プロセスなど）の構築」を目的とする。

3. 研究の方法

まず，第一に，日本並び諸外国で行っている成果をもとに，国際版認証システム原案の作成を行う。そのために，日本並びに諸外国（韓国・香港・シンガポール・台湾等）の認証システム調査を，インタビュー，質問紙調査，文献調査で明らかにした。次に，専門家会議にて国際版認証システム原案の開発を行う。第二には，日本の幼稚園・小・中・特別支援学校，各 1 校園全 4 校園を対象に，健康的な学校づくりを行い，同時に認証シス

テムを試行した（模擬認証）。最終的に，HPS 模擬認証の結果をもとに，専門家会議を行い，検討の結果，HPS 認証システムを開発した。



（１）日本並びに諸外国で行っている成果をもとに，国際版認証システム原案の作成

日本の認証システム調査 健康教育推進学校表彰校質問紙並びにインタビュー調査

過去 3 年間の健康教育推進学校表彰校約 100 校を対象に質問紙調査を実施した。さらに，質問紙調査の対象校の中で，インタビュー調査に了解した学校のうち 3 校を対象にインタビューを実施した。

諸外国(韓国・香港・シンガポール・台湾・タイ)の認証システム調査

各国で HPS 認証システムを構築しつつある国の各領域の専門家を対象に，インタビュー調査並びに文献調査，訪問調査により，諸外国の HPS 認証システム（HPS 表彰の基準と方法）を明らかにした。

国際版認証システム原案の作成

上記 を元に専門家会議にて国際版認証システム原案の開発を行った。

（２）日本の学校を対象に，健康的な学校づくりを行い，同時に模擬認証を試行

健康的な学校づくりの実施

日本の幼稚園・小・中・特別支援学校各 1 校園全 4 校園を対象に，健康的な学校づくり

を実施し、専門家が支援した。

同時に健康的な学校づくりを行った学校を対象に、模擬認証を試行

日本の健康的な学校づくりを行った幼稚園・小・中・特別支援学校各1校園を対象に、開発した認証システム原案（模擬認証）を試行した。

HPS 認証システムの開発

HPS 認証システムの試行(模擬認証)結果、並びに実施校からの意見をもとに、専門家会議を行い、検討の結果、HPS 認証システムの開発を行った。

4. 研究成果

(1) シンガポール、韓国、台湾、香港、タイ、日本の認証システム調査

各国の認証システムの特徴・長所・短所を明らかにした。日本のみが最後に応募する表彰制度で、他国は、当初から HPS に応募する認証制度であった。その中でも韓国等のように、専門家が途中で支援を行うことが HPS にとっては効果的であった。また、シンガポール等のように国が先導して行うことは、非常に重要であった。

(2) 日本の健康教育推進学校表彰校調査

過去3年間の表彰校を対象にした質問紙調査では、2年前に行った一般校の調査と比較して健康に関する様々な活動が優れていた。インタビュー調査では、各校は精力的な取り組みを行っていた。

(3) HPS 評価票の改訂

4校園にて、HPS 評価票を用いた学校評価を実施。さらに評価票に対する評価を行った結果、学校種によって様々な違いがあり、それを HPS 評価票に反映した。

(4) HPS 国際版認証システムの開発

幼稚園・小・中・特別支援学校各1校園に、健康的な学校づくりを実施しながら、仮に作成した HPS 認証プロセスを用いて、模擬認証を行った。その際、認証側にはこれまで HPS 活動を行ってきた千葉大学教育学部 HPS プロ

ジェクトメンバーがあたった。HPS 模擬認証は、以下の「HPS 認証の流れ」の【HPS 認証希望校どうしの意見交換、発表会】を除いて、ほぼ同様の流れで実施した。実施及び実施後に4校園から様々な意見と検討課題が上がり、専門家会議を得て、最終的に以下のような HPS 認証のプロセスと方法等が開発された。

開発された HPS 認証の流れ

HPS 認証の流れ 審査期間：2年間

0 年 目	<p>【 事前審査1 書類の提出とフィードバック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【フォーム1：HPS 認証希望校自己評価チェックシート（事前申請時）】と 【フォーム2：活動状況調査書（事前申請時）】に記入提出する。 ・提出書類に基づいて認証側より作成された【フォーム3：事前申請書類に対する認証側からのフィードバックシート】が学校園側に戻される。それをもとに認証側メンバーと学校園側メンバーが HPS 認証に関する意見交換を実施する。
1 年 目	<p>【 事前審査2 HPS 認証校 活動状況調査書（事前詳細計画）の提出と認証側メンバーとの意見交換】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前審査1をもとに【フォーム1：活動状況調査書（事前申請時）】を書き直し【フォーム4：活動状況調査書（事前詳細計画）】に記入する。 ・認証側メンバーと学校園側メンバーが取り組みに関する意見交換を実施する。
	<p>【 HPS 認証希望校どうしの意見交換、発表会】</p>
	<p>【 HPS に向けた取り組みの推進開始】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認証側メンバーと推進の具体策について相談・検討を行う。 ・課題にそった取り組みを開始する。
	<p>【 中間評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校園側は【フォーム5：学校園訪問評価票（中間評価時）】を提出する。認証側メンバーは学校園を訪問し、学校園側メンバーに

	<p>対して取り組みの進捗状況について聞き取りを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認証側メンバーと学校園側メンバーは、HPS プロジェクトの取り組みに関する意見交換を行う。 <p>【 中間評価のフィードバック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中間評価に基づいて認証側より作成した【フォーム6：中間評価の認証側からのフィードバックシート】をもとに、今後の取り組みについて認証側メンバーと学校園側メンバーは意見交換を実施する。 <p>【 HPS 認証希望校どうしの意見交換 発表会】</p>
2 年 目	<p>【 HPS に向けた2年目の取り組み】</p> <p>【 認証側へ承認申請】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取り組みにより得られた成果を学校園側は【フォーム1：自己評価チェックシート（最終審査時）】に記入するとともに、取り組みにより得られた成果を【フォーム7：活動状況調査書（最終審査時）】にまとめ、関連資料を合わせて認証側へ提出する。 <p>【 最終審査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認証側メンバーは、学校園を訪問し【フォーム8：学校園訪問評価票（最終審査時）】に従い、【フォーム1：自己評価チェックシート（最終審査時）】ならびに【フォーム7：活動状況調査書（最終審査時）】を基に、各学校園でHPSプロジェクトに取り組んだ成果の聞き取りを行う。 ・ 認証側メンバーと学校園側メンバーは、HPS 認証に関する意見交換を行う。 ・ 来年度に向けて、認証側から学校園へ【フォーム9：最終審査時の認証側からのフィードバック】を行う。 <p>【 認証】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認証側は最終審査を行い、その結果に基づき認定されれば【フォーム10：HPS 認定書を学校園に授与する。 <p>【 HPS 認証希望校どうしの意見交換 発表会】</p>

開発された HPS 認証プロセスの特徴

開発された HPS 認証プロセスの特徴は以下のとおりである。

開発された HPS 認証プロセスの特徴

1．認証と表彰は分ける。今回は、認証プロセスを明らかにした。

日本は、最終的に優れた取り組みをした学校が表彰をされるが、事前や途中経過では、何も行わない。他国の多くは、最初に学校が認証を行いたいかどうかを希望して、最終的に認証とともに表彰を行う国が多い。しかし、できれば認証と表彰は、分けたほうがよい。今回は、事前に希望し、最終的にある程度健康的な学校づくりに努力した学校を HPS と認証することとした。どれ位すぐれた取り組みであるか（例：金銀銅賞）といった表彰のレベル等は別に検討を必要とする。

2．審査期間：2年+@

日本を例にとると、申請は前年度の3月までに行い、1年間健康的な学校づくりの取り組みを行い、年度末の中間評価を経て、次の2年目の実践を行う。2年目の10か月目に最終審査と HPS 認証希望の申請を行い、最終審査を得て、HPS と認証される。

3．認証側からのアドバイスやサポートが受けられる。

HPS 認証側から、訪問を受けることにより、専門的なアドバイスやサポートを受けられる。しかし、実現化する場合、HPS 認証希望校が多くなった時にコスト等の問題も生じる。

4．HPS 認証希望校どうしの情報交換・発表会を実施する。

開始時、中間時、認定時に、HPS 認証希望校どうしの情報交換・発表会を実施する。

5．学校自らが自校を分析できる HPS 自己評価チェックシート

すでに開発した HPS 評価票を改訂し、HPS 自己評価チェックシートとした。

各国で様々に行われていた認証システムであったが、本研究により、調査対象国の認証システムの実態、長所、短所が明らかになった。今回は、事前に希望し、最終的にある程度健康的な学校づくりに努力した学校をHPSと認証することとし、その認証プロセスを明らかにした。どれ位すぐれた取り組みであるか(例:金銀銅賞)といった表彰のレベル等は別に検討を必要とする。また、本HPS認証プロセスは今後、諸外国で用いて、さらに検討を行う必要がある。

5. 主な発表論文等

〔代表的な論文〕(計14件)

小橋暁子, 磯邊聡, 石田祥子, 砂上史子, ホーン・ベヴァリー, フィンランドのヘルス・プロモーション・スクールの現状とコミュニティ形成への役割, 千葉大学教育学部研究紀要, 64巻, 2016, 213-227, <http://opac.11.chiba-u.jp/da/curator/>

小橋暁子, 磯邊聡, 石田祥子, 砂上史子, ホーン・ベヴァリー, フィンランドのヘルス・プロモーション・スクールの現状とコミュニティ形成への役割, 千葉大学教育学部研究紀要, 64巻, 2016, 213-227, <http://opac.11.chiba-u.jp/da/curator/>

吉田由美, 岡田加奈子, シンガポールのヘルス・プロモーション・スクールの特徴, 目白大学健康科学研究, 8巻, 2015, 27-36

岡田加奈子, 磯邊聡, 小橋暁子, 砂上史子, 北島善夫, 中澤潤, 宮寺千恵, ホーン・ベヴァリー, 小林英恵, 互光子, ヘルス・プロモーション・スクール評価票を用いた教員検討会による学校アセスメント- 幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校における評価-, 千葉大学教育学部研究紀要, 63巻, 2015, 311-316, <http://opac.11.chiba-u.jp/da/curator/>

Junko Saito, Ngouay Keosada, Sachi Tomokawa, Takeshi Akiyama, Sethavudh Kawiset, Daisuke Nonaka, Jitra Waikugul, Jun Kobayashi, Mithong Souvanvixay, Masamine Jimba, Factors influencing the National School Health Policy implementation in Lao PDR: a multi-level case study, Health Promotion International, Online (10.1093/heapro/dau016) 2014

吉田由美, 磯邊聡, 岡田加奈子, 児童生徒の良好なメンタルヘルスのための学校の指標」の開発と「児童生徒の良好なメンタルヘルスとそのための保護者, 教職員, 学校の状態例」の作成の試み-ヘルス・プロモーション・スクールをめざして-, 目白大学健康科学研究, 6巻, 2013, 57-66

〔学会発表〕(計9件)

山田響子, 岡田加奈子, 吉田由美, 鎌塚優子, 衛藤隆, 南銀祐, 小林潤, 高橋浩之, ヘルス・プロモーション・スクール認証/表彰制度の国際比較 日本・シンガポール・香港・韓国・台湾, 第25回日本健康教育学会, 2016.6.12(沖縄県)

友川幸, ラオスにおける保健教育の指導能力に関する自己評価スケールの開発, 第23回日本健康教育学会, 2014.7.13, 札幌市教育文化会館(札幌市)

岡田加奈子, 鎌塚優子, 衛藤隆, 吉田由美, ヘルス・プロモーション・スクールの認証・表彰制度の国際比較-日本・韓国・シンガポール-, 第23回日本健康教育学会, 2014.7.13, 札幌市教育文化会館(札幌市)

Kanako Okada, Health-Promoting Schools in Japan, International Conference on 2013 International Conference on School Health and Health Promotion (招待講演), 2013.12.14, 台湾師範大学(台北, 台湾)

Kanako Okada, THE CHARACTERISTICS OF HEALTH PROMOTING SCHOOLS IN ASIAN, IUHPE 21st World Conference 2013, 2013.8.26(パタヤ・Thailand)

Jun Kobayashi, Strengthening of the school health promotion in Mekong region by Japan, IUHPE 21st World Conference 2013, 2013.8.26(パタヤ・Thailand)

齋藤理砂子, 岡田加奈子, 工藤宣子, 山田響子, 鎌塚優子, 高橋浩之, 磯邊聡, 藤川大祐他, ヘルス・プロモーション・スクール評価票(2013年度版)の開発, 第22回日本健康教育学会, 2013.6.23, 千葉大学(千葉市)

小林潤, 開発途上国における包括的学校保健の国際的普及とヘルスプロモーション・スクール, 第22回日本健康教育学会, 2013.6.23, 千葉大学(千葉県・千葉市)

岡田加奈子, 日本・アジアにおけるヘルス・プロモーション・スクール(HPS), 第22回日本健康教育学会, 2013.6.23, 千葉大学(千葉市)

〔図書〕(計3件)

岡田加奈子他, 千葉大学教育学部, 平成20-25年度ヘルス・プロモーション・スクール(健康的な学校づくり)プロジェクト報告書, 2014, 275

千葉大学教育学部ヘルス・プロモーション・スクールプロジェクト, 平成25年度から平成28年度科学研究費助成事業報告書基盤(B)ヘルス・プロモーション・スクール国際版認証システムの構築, 2017

〔その他〕

ホームページ等

<http://HPS.e.chiba-u.jp>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

岡田 加奈子 (OKADA, Kanako)
千葉大学・教育学部・教授
研究者番号：10224007

(2) 研究分担者

衛藤 隆 (ETO, Takashi)
東京大学・大学院教育学研究科・名誉教授
研究者番号：20143464

中澤 潤 (NAKAZAWA, Jun)
千葉大学・教育学部・教授
研究者番号：40127676

小宮山 伴与志 (KOMIYAMA, Tomoyoshi)
千葉大学・教育学部・教授
研究者番号：70215408

小林 潤 (KOBAYASHI, Jun)
琉球大学・医学部・教授
研究者番号：70225514

北島 善夫 (KITAJIMA, Yoshio)
千葉大学・教育学部・教授
研究者番号：70260479

磯邊 聡 (ISOBE, Satoshi)
千葉大学・教育学部・准教授
研究者番号：90305102

小橋 暁子 (KOBASHI, Satoko)
千葉大学・教育学部・准教授
研究者番号：60468395

鎌塚 優子 (KAMAZUKA, Yuko)
静岡大学・教育学部・准教授
研究者番号：80616540

朝倉 隆司 (ASAKURA, Takashi)
東京学芸大学・教育学部・教授
研究者番号：00183731

友川 幸 (TOMOKAWA, Sachi)
信州大学・学術研究院教育学系・准教授
研究者番号：30551733

(3) 連携研究者

藤川 大祐 (FUJIKAWA, Daisuke)
千葉大学・教育学部・教授
研究者番号：50288429

揚原 祥子 (AGEHARA, Sachiko)
千葉大学・教育学部・准教授
研究者番号：20361397

天笠 茂 (AMAGASA, Shigeru)
千葉大学・教育学部・教授
研究者番号：80151116

石井 克枝 (ISHII, Katsue)
千葉大学・教育学部・教授
研究者番号：80106947

工藤 宣子 (KUDO, Noriko)
千葉大学・教育学部・准教授
研究者番号：60305266

佐瀬 一生 (SASE, Kazuo)
千葉大学・教育学部・准教授
研究者番号：40595782

高橋 浩之 (TAKAHASHI, Hiroyuki)
千葉大学・教育学部・教授
研究者番号：20197172

砂上 史子 (SUNAGAMI, Fumiko)
千葉大学・教育学部・准教授
研究者番号：60333704

七澤 朱音 (NANASAWA, Akane)
千葉大学・教育学部・准教授
研究者番号：10513004

花澤 寿 (HANAZAWA, Hisashi)
千葉大学・教育学部・教授
研究者番号：50238044

保坂 亨 (HOSAKA, Toru)
千葉大学・教育学部・教授
研究者番号：30173579

ホーン・ベヴァリー (Beverley Horne)
千葉大学・教育学部・准教授
研究者番号：80595786

宮寺 千恵 (MIYADERA, Chie)
千葉大学・教育学部・准教授
研究者番号：90436262

齊藤 理砂子 (SAITO, Risako)
聖学院大学・人間福祉学部・准教授
研究者番号：90634907

(4) 研究協力者

吉田 由美 (YOSHIDA, Yumi) 元目白大学
山田 響子 (YAMADA, Kyoko) 東京大学
南 銀祐 (Num Eun Woo) Yonsei 大学(韓国)
黄 稚文 (Huang, Ya Wen) 台湾師範大学(台湾)
金 美珠 (Miju, Kim) ソウルサイバー大学(韓国)